

Catalogue No.

20153-12



「ほんものの日本」と日本人らしい営みの創造を

日本の繊細な感性を現代に創出するために

用美： これからの日本建築をどのようにお考えですか？

前田： 明治以降、西洋文明による近代化の波によって、永い間に培われてきた日本の伝統文化は次第に影を薄めてきました。先の大戦後、さらにそれは顕著になりました。その間、世界の文物はおびただしい勢いで流入し、その真髄は人々の意識の中で沈滞する一方で、「日本人の忘れもの」が指摘されるほどになりました。しかし、私が本拠を構える伊勢や用美の本拠地である岐阜には、日本人のルーツにつながる文化があり、技術が今なお息づいています。私たちは、この地域に根ざす文化力に軸足を置いて、「ほんものの日本」と日本人らしい営みの創造をめざしています。かつて外国人が賞賛した日本人らしい生活の姿を、現代に創出したいと考えています。